

# 令和5年度 人権施策実績 報告

## ◆人権啓発推進事業

【事業費 5,787 千円】

### ① 市民啓発事業

#### ●「広報じんけん」発行

9月号(A4版4頁) 人権川柳コンテスト入賞作品、LGBT理解増進法の概要など

12月号(A4版8頁) 人権作文・人権写真コンテスト入賞作品、折り鶴平和大使報告、戦争にまつわる体験談などを主な内容とした人権啓発の広報誌「広報じんけん」を全戸配布した。

〈作成部数 9月:72,000部 12月:71,900部〉

#### ●広報かわにし(milife)毎月号に人権コラム「生きる」を掲載

※主に人権的観点から、社会全般や市民一人ひとりの課題等執筆

年12回 執筆者:横山 由紀子さん(会話の泉 事務局長コミュニケーション・サポーター)

#### ●人権デー等における啓発ビラ作成・配布

毎月第3金曜日の人権デーにあわせて、職員が作成した人権啓発ビラを市内公共施設に配付した。(7月までは街頭でも配布) ※300部作成

#### ●人権週間映画会の実施

12月6日(木) キセラホール 参加者数 延べ422人

上映作品: 邦画 「世界は僕らに気づかない」

(※生きづらさを抱える青年が母や恋人との関係を通して愛に出会うまでの青春映画)

洋画 「ストールプリンセス キューの王女とルスラン」

(※ウクライナへの支援として、川西市出身の粉川なつみさんが、日本上映権を購入されたアニメ)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
参加人数	970	615	360	600	1,040	422

#### ●人権川柳、人権フォト、人権作文コンテストの実施

人権川柳(6月)、人権作文(9月)、人権フォト(9月)コンテストの作品を市民に募集し、優秀作品を「広報じんけん」等に掲載し、啓発に活用した。

応募数

・フォト:11点(一般) ・川柳:108点(小学・中学・一般) ・作文:84点(小学・中学)

#### ●啓発冊子(Yell)の発行・配付

新小学1年生の保護者向けに「Yell エール～子どもたちの幸せを願って～」を1,170部作成し、各小学校へ配布した。

#### ●啓発懸垂幕の掲示

市役所北側にある懸垂幕棟に各種啓発懸垂幕を掲示し、啓発を行った。

・「憲法週間」4月19日～5月9日 ・「人権文化をすすめる県民運動」8月1日～9月1日

・「人権週間」11月20日～12月11日 ・「人権擁護都市宣言」2月7日～3月7日

・「非核平和都市宣言」➡ 懸垂幕塔が空いている限り懸垂した。

(ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻やイスラエルとパレスチナの紛争に対する抗議の意を表し)

## ●人権啓発用 DVD の購入及び貸出

人権研修会、市民啓発等の教材として、新規に4本購入するとともに市民や職員に176件貸し出した。

### 新規購入DVD

- ①大切なひと ②破戒 ③ハラスメントの裏に潜む 無意識の偏見
- ④言葉があるから…無自覚の差別「マイクロアグレッション」

(※現有本数 人権推進多文化共生課 238本 VHS含む)

## ●啓発グッズの購入・配付

各種啓発グッズを購入し、啓発用物品として配布した。

- ・啓発用卓上カレンダー 1,000個
- ・啓発用オリジナルマスコット(主に「インターネットと人権」に関する啓発) 2,000個

## ●市内企業への啓発

企業人権問題啓発推進協議会(事務局:産業振興課)主催の講演会の開催

- ・6/28 「ホスピタリティ(思いやり)の気持ちを高める ～すべての人が思いやりをもって安心して過ごせる社会に～」 講師:山本 裕次さん(ホスピタリティーアドバイザー)

- ・2/21 「誰もが働きやすい職場づくりを考える」

講師:福嶋 剛さん(アクセンチュア株式会社)

それぞれ市役所 202 会議室において実施した。

※参加者数 6/28: 46人(職員 28人) 2/21: 23人(職員 13人)

## ●北朝鮮人権侵害問題啓発の実施

市役所市民ギャラリー (R6年1月10日～22日)及び総合センター(1月19日～2月2日)において北朝鮮による日本人拉致問題についてのパネル啓発を実施した。

## ② 人権擁護事業

### ●インターネットモニタリング事業

インターネット上における本市に関わる差別的書込み(部落差別を中心)について職員がモニタリングした。

(毎月1回、1人・1時間程度) (※R5年度プロバイダー等への削除要請: 11件 削除実績: 2件)

### ●「本人通知制度」の普及・啓発

市民一人ひとりの人権を擁護し、住民票の写しや戸籍の謄本などの証明書の不正取得の防止や不正請求の防止をはかるため、証明書を代理人や第三者に交付したとき、事前に登録した人に、その交付の事実を通知する制度について、その普及と啓発を図るため、その内容をホームページに掲載した。

(※R6年3月31日現在登録者数:659人)

### ●人権擁護委員等による相談及び啓発

法務大臣より委嘱された人権擁護委員による、人権侵害に対する救済や人権に関する特設人権相談所を、毎月第3金曜日の人権デーと6月の人権擁護委員の日及び12月の人権週間に市役所内で開設するなど連携を図るとともに、課の所属職員も随時市民からの人権相談を受けた。

(※人権擁護委員による相談件数 3人、課としての相談件数 延べ30人)

### ●「パートナーシップ宣誓制度」

セクシュアルマイノリティの人たちが市民として安心していきいきと生活し、個性が十分に発揮できるよう支援することを目的として令和2年に導入した制度。

(※R5年度の利用者 0件 延べ件数 3件)

## ③ 職員研修事業 ※詳細は別頁「職員人権研修実績報告書」参照

職員研修については、各職場における独自研修を中心に、人権推進多文化共生課、総合センター、職員課各主催の研修会を実施し、職員の人権意識向上を図った。 ※詳細は、別頁「職員人権研修実績報告書」参照

## ④ 人権問題に関する市民意識調査の実施

川西市人権行政プランを改定(見直し)するにあたり、人権問題に関する市民の意識を把握し、次期プラン策定の基礎資料とすることを目的として実施した。

調査対象 : 川西市在住の満18歳以上の市民 2,000人  
調査対象の抽出方法: 住民基本台帳及び外国人登録票より無作為抽出  
調査方法 : 郵送配布・郵送回収及びインターネット回答  
調査期間 : 令和5年11月1日~30日  
有効回収数 : 765件(有効回収率 38.3%)

## ◆市民平和推進事業

【事業費 134千円】

### ●かわにし人権・平和展の開催

平和や人権の大切さについて気づき、考え、伝えることを目的に開催(7月20日~8月16日)  
市内各公民館、中央図書館、総合センター、市役所市民ギャラリーにおいて、「市民が描いた原爆の絵」をテーマとしてパネル展示啓発を行った。  
同時に平和ビデオ上映会や「折り鶴」コーナーを設置し、広く市民に平和事業に参加していただいた。

### ●折り鶴平和大使派遣事業

応募市民から選ばれた2人(市内中学3年生と市内高校1年生)を広島に市民の代表として派遣し、市民が折った折り鶴を届けるとともに8月6日の平和記念式典に参列した。  
また、12月6日の「人権週間映画会」の会場において、2人の大使による式典参加報告会を実施した。  
(※市民が折った折り鶴の合計:約1万7千羽)

(※大使応募総数:7人)

### ●戦争体験談募集事業

市民から広く戦争にまつわる体験談を募集し、応募作品のうち2編を「広報じんけん12月号」に掲載し、また市ホームページにおいては、全編を掲載し、広く市民に平和啓発を行った。

(※応募総数:9編・人)

### ●懸垂幕掲示「非核平和都市宣言のまち川西市」 ※常時

市役所北側や敷地内にある懸垂幕棟で懸垂し、市民啓発を行った。  
また、ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻やイスラエルとパレスチナの紛争に対する抗議の意味を込めて、常時(懸垂幕塔が空いている期間)懸垂している。

### ●「平和行進等」の受け入れ(2団体)

- ・7月7日 核兵器廃絶国民平和行進(核兵器廃絶国民平和行進兵庫県実行委員会)
- ・8月8日 反核・平和の火リレー(日本青年学生平和友好祭兵庫実行委員会)

## ◆人権教育推進団体等支援事業

【事業費 8,520千円】

### ①人権啓発サポーター会への支援と協働 <構成人数 5人>

「人権啓発サポーター会」は、主に市民向けの人権学習市民講座や人権学校の企画・運営やサポーター自身の資質の向上のための学習を行うなど、人権啓発サポーター会の活動を支援・協働した。

(会議 10回)

□人権学習市民講座(①6/15 ②6/22 ③6/30の3回講座)

共通テーマ「"共に生きる社会のために"~社会的弱者にやさしく地域社会に貢献する実践に学ぶ~」

講師:①中川 ミミ さん(一般社団法人 Be 代表) 「多文化共生、今、丹波で生きる」

②佐藤 優子 さん(一般社団法人「つばさ」理事) 「つばさの活動をとおして」

③川並 隆 さん(市内在住) 「地域の中で認知症と向き合う家族」

(※参加者総数:80人)

□人権学校(①11/15 ②11/22 ③11/29の3回講座)

メインテーマ:『子どもが子どもで いられる「まちに」』 ~ヤングケアラーと人権~

②小学校区人権啓発推進委員会への支援 (※活動の詳細は別頁)

地域に根ざした人権啓発活動を推進するため、地域住民主体の小学校区人権啓発推進委員会(市内16校区)に啓発活動を委託するとともに、市も職員2名を校区担当者として配置して協力、支援・協働した。

またその一環として、大型貸切バスを2台手配し、現地学習会を実施した。

□12/14 京都(龍安寺・立命館大学平和ミュージアム)

□12/21 岡山(国立療養所 長島愛生園)

(※参加者総数 54人)

③川西市人権教育協議会への支援と協働 (構成人員 約380人)

市民、社会教育関係団体等の関係者、学校関係者、行政職員等で広く組織している川西市人権教育協議会の人権教育、人権啓発活動を支援・協働した。

④かわにし子どもの人権ネットワークへの支援と協働

子どもの権利条約を広く市民(子ども)に普及、啓発することを目的に、「かわにし子どもの人権ネットワーク」に活動を委託し、支援協働した。

主な活動内容は、子どもの人権学習、郊外体験学習など

〈 構成人数 小学生3人 中学生3人 計6人 会議・活動等9回 〉

◆子どもの人権オンブズパーソン事業 【事業費 30,381千円】

〈オンブズパーソン3人・調査相談専門員相談員4人(会計年度任用職員)・専門事務員1人(会計年度任用職員)・職員1人〉

※詳細は、「子どもオンブズ・レポート2023」参照

●相談・調整活動 ※2023年次

・年間ケース数 63件(新規 49件 継続14件)

・相談・調整回数 739回(子ども 296回・おとな 443回)

※ケース数=相談の対象となった子どもの数 ※相談・調整回数=当該子どものケースに関わった相談・調整の回数

●調査活動等 ※2023年次

・申立てによる調査案件: 1件

・オンブズパーソンの発意による調査案件はなし

●広報・啓発活動

制度や活動内容について広く知ってもらい、身近に活用できるように広報・啓発をした。

・リーフレット、電話カードの配布(全児童・生徒、教職員に配布)

・子どもオンブズ通信の配布(全小・中学生と教職員に2回配布)

・子どもたちの事務局見学の受け入れ(小学3年生の市役所見学)

・職場体験の受け入れ(中学2年生のトライやる・ウィーク)

・市民等対象の講演会・研修会等への講師(オンブズパーソン)派遣

・年次活動報告会の開催(活動報告とシンポジウム:アステホール)・・・R6年3月23日開催(参加者:67人)

・子どもオンブズ・レポート(活動報告書)の発行

・視察・取材・問い合わせ等・・・43件 ※2023年次